



資料一 1

## これまでの経過

## これまでの経過

時期	内容
H28.5.25	準備会(熊本県北防災担当者会議)
H28.6.28	H28 第1回協議会 (設立趣旨、目的、アウトプットイメージの共有、協議会キックオフ)
H28.7.22	H28 第1回 幹事会 (協議会での決定事項に基づき、具体策を検討する)
H28.8.5	第2回協議会 (取組方針の決定)
H28.11.17	H28 第2回 幹事会 (取組方針を具体化するための各自治体の課題、先進事例の共有)
H29.3.23	H28 第3回 幹事会 (第2回幹事会を踏まえ、重点的に行う取組方針の抽出)
H29.5.17	H29 第1回協議会 (熊本県北地域において重点的に行う取組方針の決定)

# 熊本県北地域 災害に強い地域づくり協議会を発足！

- 日時 : 平成28年6月28日(火) 10:00~
- 出席者 : 玉名市(市長)、山鹿市(市長)、菊池市(市長)、熊本市(欠席)、荒尾市(市長)  
玉東町(代理)、和水町(町長)、南関町(町長)、長洲町(町長)、  
熊本県危機管理防災課(欠席)、熊本県河川課(代理)  
熊本県北広域本部(本部長)、熊本県玉名地域振興局(局長)  
熊本県玉名地域振興局(局長)、熊本県鹿本地域振興局(局長)  
熊本地方气象台(台長)、菊池川河川事務所(所長)

## ■ 概要

全国的な大規模豪雨災害発生等を踏まえ、洪水氾濫等が発生することを前提とした水防災意識社会再構築を目指し、菊池川流域をはじめ周辺自治体の首長等をメンバーとした協議会(熊本県北地域 災害に強い地域づくり協議会)を発足しました。

当日は、熊本地震による被災や一部の自治体で避難勧告の発令中のさなか、5市4町(2市町のみ欠席又は代理)の首長及び熊本県北広域本部長、3振興局長、熊本地方气象台長等ほとんどの関係機関の長の出席により、菊池川流域の災害リスク及び減災の取組に関して情報共有しました。

## ■ 内容

- ・ 減災のための各自治体の取組の情報共有
- ・ 熊本地震等これまでの災害の教訓の確認
- ・ **取組方針のイメージを共有**
- ・ **取組目標の承認(広域連携体制の構築)**
- ・ **8月までに取組方針を策定**

## 協議会開催状況



# 取組目標 【菊池川】

## ■5年間で達成すべき目標

菊池川流域及び近隣自治体が**相互に協力し**

**「圏域全体で連携して災害に強い地域づくり」**を目指す。

## ■上記目標達成に向けた3本柱の取り組み

菊池川は、中央付近の盆地に多数の支川が流れ込むため、中流部の菊鹿盆地や下流部の玉名平野において堤坊が決壊した場合には、人口、資産が集積した山鹿市街部、玉名市街部を氾濫流が襲い、さらに浸水範囲も複数の市町にまたがる広域的な被害となる。このような特徴を踏まえ、ハード整備と合わせ、これまでに経験したことがない災害時においても被害の最小化を図るため、**住民自らが迅速かつ的確な避難行動をとるべく自治体や民間団体等と連携協力し、ソフト対策に積極的に取り組むことにより、「菊池川流域の災害に強い地域づくり」**を目指す。

1. 流出形態等が異なる多数の支川が流れる特徴を踏まえ、各自治体が広域的に連携できるための仕組みづくり及び施設整備
2. 住民自らが避難行動を取るための迅速かつ的確な防災情報提供と水防災学習・教育の推進、水防活動の取り組み強化
3. 過去の水害を踏まえた災害に強い地域づくりに寄与する着実なハード整備

# 菊池川流域等の減災に係る取組方針を策定しました！

- 日時 : 平成28年8月5日(金) 15:30~
- 出席者 : 玉名市(市長)、山鹿市(市長)、菊池市(市長)、熊本市(代理 危機管理監)、荒尾市(市長)、玉東町(代理 総務課長)、和水町(町長)、南関町(町長)、長洲町(代理 副町長)、熊本県危機管理防災課(欠席)、熊本県河川課(代理 審議員)、熊本県北広域本部(代理 土木部長)、熊本県玉名地域振興局(代理 土木部長)、熊本県玉名地域振興局(代理 土木部長)、熊本県鹿本地域振興局(代理 土木部長)、熊本地方气象台(代理 次長)、菊池川河川事務所(所長)

## ■ 策定のポイント

菊池川流域で近年大きな災害が起こっておらず災害の記憶が風化しつつあったことから、減災に向けた取組メニューの抽出が困難であったため、熊本地震対応に関する自治体アンケート・地元消防団や自主防災組織のリーダーからの聞き取り等を行うことによりさまざまな課題を抽出し、取組方針を策定しました。

## ■ 主な意見

### 【山鹿市長】

住民は逃げないということ。そのための啓発活動を繰り返し行うことで防災意識が高まる。

### 【熊本県 鹿本地域振興局 土木部長】

ハード整備は限られた予算の中で行っており地域によって差が生じるため、ソフト対策が重要。熊本県として、市町の取組をしっかりとバックアップしていきたい。

### 【玉名市 防災安全課長】

すべてのメニューを一気にできない。熊本県北圏域で足並みを揃え、連携を深めながら取組の底上げをすることが大事。



## 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 菊池川流域等の減災に係る取組方針

平成28年8月5日

熊本県北地域 災害に強い地域づくり協議会

山鹿市・玉名市・菊池市・熊本市・荒尾市・玉東町・和水町・南関町・  
長洲町・熊本県・気象庁 熊本地方气象台・国土交通省 菊池川河川事務所

### 6. 概ね5年で実施する取組

大規模な洪水氾濫が発生することを前提として、社会全体で常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築することを目的に、各構成参加機関が取り組む主な内容は次のとおりである。

- 1) 住民自らが避難行動をとるための迅速かつ的確な防災情報提供と水防災害習・教育の推進、水防活動の取り組み強化  
住民自らが防災力向上を図ることが必要不可欠であることを踏まえ、防災力強化のため、以下の取組を行う。

主な取組項目	課題の対応	目標時期	取組機関
<b>■水防学習・教育の推進</b>			
・洪水予報等の防災情報の意味や災害リスクに関する広報や資料の作成、周知	A,B C,G	引き続き実施	市町 熊本県 菊池川河川
・小中学校における水災害教育等の実施及び共通テキスト検討、作成	A,C G	引き続き実施	市町 熊本県 菊池川河川
・防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施	A,G	平成28年度から順次実施	市町 熊本県 菊池川河川
・過去の被害を忘れないよう、まちなかの公共物に浸水深を示す等の「まるごとまちごとハザードマップ」の検討、整備	C,D	平成29年度から順次実施	市町 菊池川河川
<b>■災害発生を想定した事前準備【自助】</b>			
・子供や高齢者へ、パーソナルカード(名前、連絡先、血液型等の情報を記載)の準備を促す啓発	A,G	平成28年度から順次実施	市町(住民)
・住民へハザードマップや実際の周辺状況等の事前チェックを促す啓発	A,G	平成28年度から順次実施	市町(住民)
・住民へ防災グッズや食料品の事前準備を促す啓発	A,G	平成28年度から順次実施	市町(住民)
<b>■災害発生を想定した事前準備【共助】</b>			
・水害のリスクが高い区間の共同点検の実施	X	引き続き実施	市町 熊本県 菊池川河川
・関係機関が連携した定期的な水防訓練の実施	W,AD	引き続き実施	市町 熊本県 菊池川河川

# 幹事会での議論(ワークショップ形式)

- 目的・内容： 取組方針を具体化するための各自治体の課題や先進的な取組の情報共有 など
- 進め方： 自治体を3班に分けて、住民役、河川管理者役をそれぞれの班に含め議論。最後に発表。

付箋紙に意見を書き図面に貼り付け

班別の発表

活発な議論

- 出席者の感想：  
それぞれの地域で状況が全く違うため、各市町の取組を情報共有しそれぞれの自治体に合うやり方を導入することが重要である。そのためこの幹事会は有意義であった。 など

## ■出されたおもな意見：

- 避難所が不足・遠い・内水で通れなくなる・高台にない。隣町の避難所が近い。
- 逃げない（住民の意識が低い、危険度が伝わる情報になっていない。）
- 災害時に支援物資がとどかない・保管が難しい。各市町での対応に苦慮、人員不足

解決策

- 市町の枠を越えての避難、民間への協力依頼、住民の意識を高める啓発
- 分かりやすい情報、土砂災害、地震、水害など全ての情報が入った図の作成
- 人、物、情報の連携が必要